

6月14日（金）

わたしはとこしえの愛で、あなたを愛してきた。

時のはじまる前から、わたしはあなたを知っていた。

何年も何年もあなたは、愛を探し、希望を望んで、無意味の海の中を泳ぎまわっていた。

そのあいだずっとわたしは、あなたの姿を追い求めていた。

わたしの哀れみ深い腕の中にあなたを抱きしめたい、と切に願いながら……。

機が熟したとき、わたしは自分をあなたに現した。

絶望の海からあなたを救い上げ、堅固な土台の上にあなたを置いた。

ときどきあなたは、自分が裸でいるような一すべてを明るみに出すわたしの光にさらされているような感じがした。

わたしは王のころも衣で—わたしの義の衣で、あなたを覆った。

あなたに愛の歌を一始めと終わりが永遠のベールに覆われた歌を、歌ってきかせた。

あなたの心の中に、生きる意味を注ぎこみ、あなたの想いをわたしとの調和で満たした。



譽を、あなたがたが告げ知らせるためです。